

江 南 区
区ビジョンまちづくり計画
第1次実施計画

平成27年度－28年度

新潟市江南区役所

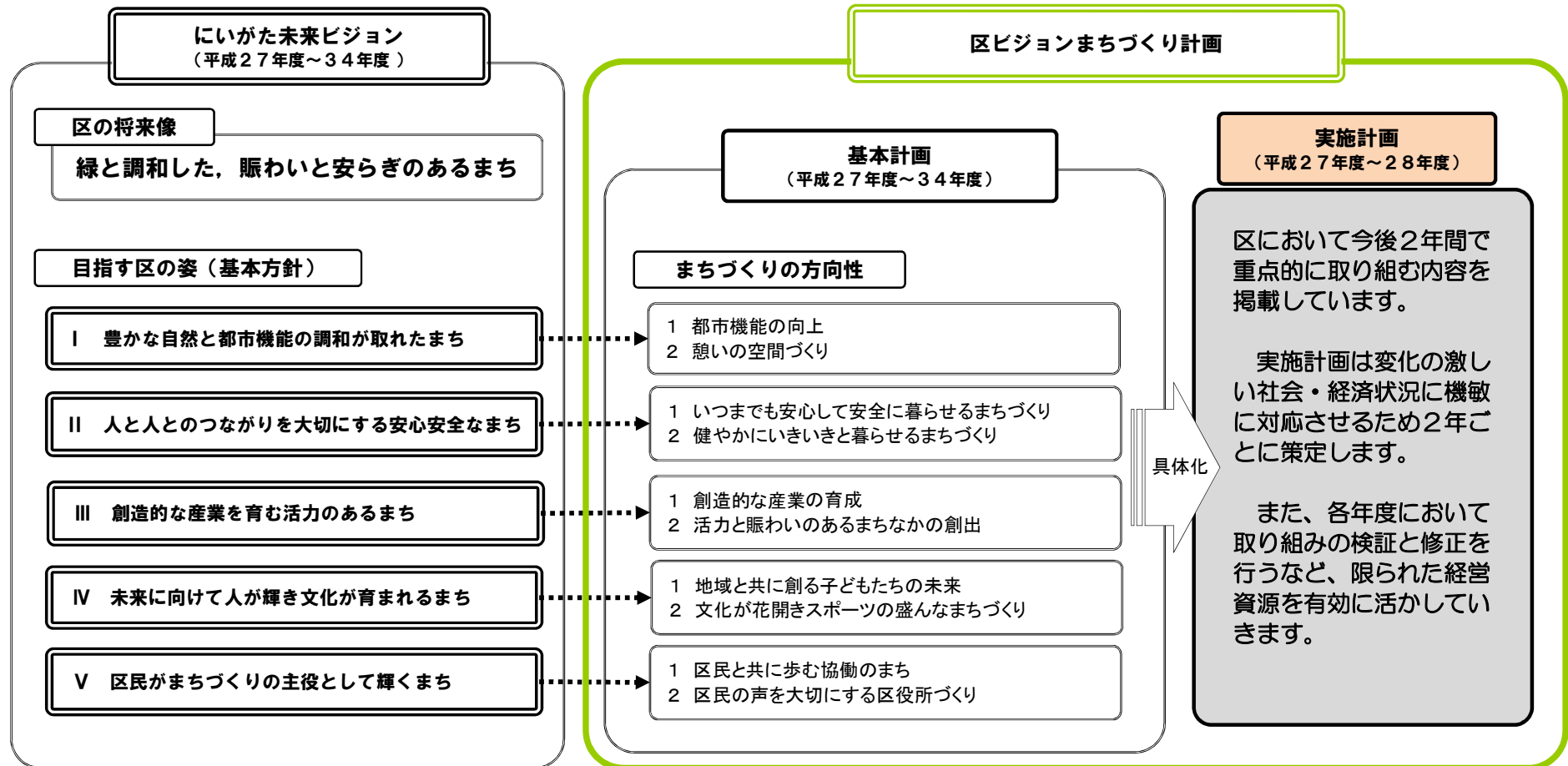
目次

区ビジョンまちづくり計画の概要	1
I 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち	2
1 都市機能の向上		
2 憩いの空間づくり		
II 人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち	8
1 いつまでも安心して安全に暮らせるまちづくり		
2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり		
III 創造的な産業を育む活力のあるまち	15
1 創造的な産業の育成		
2 活力と賑わいのあるまちなかの創出		
IV 未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち	18
1 地域と共に創る子どもたちの未来		
2 文化が花開きスポーツの盛んなまちづくり		
V 区民がまちづくりの主角として輝くまち	22
1 区民と共に歩む協働のまち		
2 区民の声を大切にする区役所づくり		

区ビジョンまちづくり計画の概要

区ビジョンまちづくり計画とは、区におけるまちづくりの基本的な方針として「にいがた未来ビジョン」（新潟市総合計画）の一部に位置づけられている「区ビジョン基本方針」に基づく、まちづくりの具体的な取り組みを示したものです。

区では、区民と行政が区の目指す方向性を共有し、お互いに役割を分担しながら、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを協働で進めていきます。



豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち

- 主要な道路の結節点やJR信越本線を有する交通の要衝としての利便性を活かして、人と物が交流し誰もがいきいきと快適に生活できるよう、道路や公共交通などの環境整備を進め、都市機能の向上を図ります。
- 緑豊かに広がる田園風景と信濃川、阿賀野川、小阿賀野川を結ぶ水と緑のネットワークづくりやその活用と、資源循環型社会の構築を目指した環境にやさしいまちづくりを推進するなど、自然環境との共生を図り、未来の世代につなげます。

基本方針Ⅰ 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち

1 都市機能の向上

人と物が交流し、快適に生活できるよう、道路や公共交通などの環境整備を進め、都市機能の向上を図ります。

(1) 道路網の充実

	事業名	事業概要	第1次工程・数値目標及び評価			
			平成27年度	平成27年度の目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	(主)新潟中央環状道路整備 【横越バイパス工区】 【城所工区～酒屋工区】	本事業により、新潟空港、新潟東港などの国際交通拠点を効果的に連結するとともに、日本海東北自動車道豊栄新潟東港ICや、国道49号とのアクセス向上を図り、江南区の円滑な交通の確保を目指します。	【横越バイパス工区】 用地買収 道路整備 【城所工区～酒屋工区】 測量試験	【横越バイパス工区】 用地買収：進捗率60% 道路整備：盛土工事 【城所工区～酒屋工区】 測量試験：実施	【横越バイパス工区】 用地買収、道路整備、遺跡調査 【城所工区～酒屋工区】 詳細設計、用地測量、用地買収	【横越バイパス工区】 計画通り実施した。 【城所工区～酒屋工区】 計画通り実施した。
2	(都) 亀田南線整備	(主)新潟亀田内野線～(一)白根亀田線間を延伸して国道49号に取り付け南北交通軸の機能向上を図り、(主)新潟亀田内野線等の東西交通軸と併せて環状型の幹線道路網を構築します。	用地買収 道路整備	用地買収：完了 道路整備：道路改良工事	/	交差点照明：1基 支障物撤去（遺跡調査のため）
3	亀田252号線整備	本路線整備により区の東西方向の交通ネットワークを形成すると同時に、(主)新潟亀田内野線のバイパスとしての機能を確保します。	用地買収進捗 97% 道路整備	用地買収：進捗率99% 道路整備：盛土撤去工事	用地買収 道路整備	用地買収：進捗率99% 道路整備：計画通り実施した。
4	南7-346号線他整備 (公園線延伸)	本路線の整備により、周辺の道路網が強化され、円滑な交通の確保と自転車・歩行者の安全確保、災害時の避難・緊急輸送機能などの防災機能の向上を図ります。	用地買収進捗 66% 道路整備	用地買収：進捗率88% 道路整備：橋梁下部工工事	用地買収 道路整備	用地買収：計画通り実施した。 道路整備：計画通り実施した。
5	一般県道白根亀田線整備 (早通地区)	日本海東北自動車道新潟亀田ICからの円滑な交通を確保するため、南北交通軸の機能向上を図り、東西交通軸と併せて幹線道路網を構築します。	用地買収	用地買収：完了	道路整備	道路整備：計画通り実施した。
6	亀田480号線整備	日本海東北自動車道新潟亀田ICからの円滑な交通を確保するため、亀田1-480号線及び(一)白根亀田線等の南北交通軸の機能向上を図り、東西交通軸と併せて幹線道路網を構築します。	用地買収進捗 32%	用地買収：進捗率57%	用地買収 道路整備	用地買収：進捗率57% 道路整備：計画通り実施した。
7	(都) 亀田中央線整備 (主)新潟新津線	亀田市街地を南北方向に連絡するバス路線で通勤・通学に利用されている本路線の街路整備により、亀田駅前交差点などの渋滞緩和を図ります。	用地買収進捗 94% 道路整備	用地買収：進捗率72% 道路整備：峯橋迂回路整備工事	用地買収	用地買収：進捗率75%
8	(主)新潟港横越線 新潟東スマートIC整備	新潟東スマートICの整備により、(主)新潟港横越線、国道7号竹尾IC周辺での慢性的な渋滞緩和、及び(主)新潟港横越線周辺地域や新潟西港方面から高速道路への所要時間の短縮につなげます。	用地買収 道路整備 全区間供用開始	用地買収：完了 道路整備：西野地内 供用開始日：28年3月26日	/	/
9	(都) 太平大淵線整備 嘉瀬蔵岡線5号	新潟空港と日東道新潟空港ICを連絡する第一次緊急輸送道路の「下山江口線」を補完する幹線道路であるが、当該区間は幅員が十分確保されていないため、現道を拡幅整備することで新潟空港アクセスの多重性を確保するほか、災害時の道路網の強化、避難・緊急輸送機能にもつなげます。	地質調査	地質調査：完了	/	/

10	(主)新潟亀田内野線 西山茗荷谷歩道整備	東区一日市を起点として新潟市市街地を経て西区内野に至る主要幹線道路のうち、本事業箇所である車道2車線の整備済み区間について、歩道を新設することにより歩行者の危険を解消し、安全性の向上を図ります。	【北山拡幅】 用水路委託（設計・工事） 【西山茗荷谷歩道整備】 用地移管	【北山拡幅】 用水路委託補償工事 用地買収進捗率88% 【西山茗荷谷歩道整備】 用地移管：協議中	【北山拡幅】 用地買収、道路整備	【北山拡幅】 用地買収：進捗率95% 道路整備：計画通り実施した。
11	(主)新潟新津線 亀田跨線橋整備	亀田跨線橋は架設から50年以上経過し、老朽化が著しい状態です。 新橋建設により地域間連携を推進するとともに、緊急輸送道路である国道49号への円滑な交通を確保し、江南区南部の災害時の避難・緊急輸送機能の向上を図ります。	詳細設計	詳細設計：実施	用地測量	用地測量：計画通り実施した。
12	亀田263号線整備	亀田地区の中心として将来の発展に重要な位置を占めることに加え、(主)新潟亀田内野線の渋滞緩和にもつながることから当該路線の整備を促進し、市街地交通の分散、誘導を図ります。	道路整備	道路整備：道路改良工事	道路整備	道路整備：計画通り実施した。
13	沢海横越線他整備	中心市街地と周辺集落の沢海・小杉地区を結ぶ幹線道路であるが、現況幅員5m前後の狭い道路であり、不便をきたしています。 阿賀用水路の改修に合わせて拡幅改良し、集落間の幹線道路として車両の円滑化を図り交通の利便性を確保します。	用地測量 用地買収 道路整備	用地測量：実施 用地買収：対象外 道路整備：対象外		
14	南7-383号線整備	天野地区は歩道が整備された道路が少なく、曾野木小学校への通学時の安全確保が課題となっていることから、老朽化した天野排水路の県施工の矢板護岸暗渠化改修に併せて、水路用地を活用した道路整備を行い、地区内の円滑な交通や通学児童の安全性の確保を図ります。	工事着手はH28年度へ変更 (県暗渠化改修工事の未了)	工事着手：計画通り県の暗渠化 工事の竣工後、着手		
15	砂崩南線整備	(主)新潟港横越線と亀田160号線を東西で結び、交通ネットワークを形成すると共に、住民の利便性の向上を図ります。	用地買収	用地買収：完了		
16	割野酒屋町線整備 歩道設置	現況歩道は、旧小阿賀用水路の上部にコンクリート床版を設置した箇所を利用しており、道路面から約50cm高く、歩道を利用するのに階段を使用することから、冬期積雪時には、滑って転倒する危険があるため、歩車道の段差を解消して安全性の向上を図ります。	測量・簡易設計	測量・簡易設計：実施	道路整備	道路整備：計画通り実施した。
17	南9-27号線整備 歩道設置	現況歩道は、旧用水路の上部にコンクリート柵板を設置したもので、幅が狭く、老朽化により不陸が生じているほか、歩道脇には、深い排水路があり冬期降雪時には、滑って転落する危険性があるため、排水路も含めて歩道として利用できるよう改良します。	測量・簡易設計 道路整備	測量・簡易設計：実施 道路整備：道路改良工事	道路整備	道路整備：計画通り実施した。

(2)公共交通のさらなる利便性の向上					
事業名	事業概要	第1次工程・数値目標及び評価			
		平成27年度	平成27年度の目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1 区バスの運行事業	アスパーク亀田-亀田駅西口-新潟市民病院間を区間とする区バスを運行します。より利用者ニーズを踏まえた運行となるよう努めます。	江南区福祉センターへの乗り入れ 朝夕の増便意向調査	江南区福祉センターへの乗り入れ：実施 朝夕の増便意向調査：未実施	増便の検討	増便の検討：計画通り実施した。 (増便に向け必要となるデータ・資料等について検討)
2 住民バス補助事業	各地区の実情に合わせ、人口密度などの地域要件を考慮した補助率に見直すなど生活交通の確保に向けた支援を強化します。	見直した補助率により運行支援実施	見直した補助率により運行支援：実施	見直した補助率により運行支援実施	計画通り実施した。
3 住民バス社会実験	公共交通空白・不便地域において住民バスの社会実験を実施することを通じ、生活交通の改善・強化を進めます。	本格運行への検討 ニーズ調査の実施	本格運行への検討：本格運行に向けた社会実験の実施 ニーズ調査：両川地区でのニーズ調査の実施	本格運行実施 社会実験の実施	本格運行実施：実施できなかった。 社会実験の実施：計画通り実施した。
4 つかいやすい公共交通会議	区内公共交通関係機関の意見交換の場を設け、相互の理解を深め連携を強化します。	年2回実施 区民の意識向上に向けた取り組みの検討、実施など	年2回：実施 意識向上に向けた取り組みの検討など：区内公共交通課題に関する意見交換の実施、バス無料の日など利用促進に向けた効果的な手法の検討 など	年2回実施 区民の意識向上に向けた取り組みの検討、実施など	計画通り実施した。
5 交通の利便性を活かした区づくり	区民や公共交通事業者などと連携し、利便性の高い公共交通体系の構築に向けて、解りやすく、使いやすい視点での情報誌の作成とPR事業を行い、バス利用の促進を図ります。	バス無料の日の実施 マップや情報誌の作成	バス無料の日：実施 マップ・情報誌の作成：公共交通情報誌、区バスポケットサイズ時刻表、バス路線車内掲示ポスターの作成 など	バス無料の日の実施 マップや情報誌の作成	・バス無料の日の実施：バス乗車体験会に計画を修正して実施した。 ・マップや情報誌の作成：計画通り実施した。
6 二本木地区開発事業 (新駅設置・パーク&ライド)	新駅の(仮称)江南駅周辺土地区画整理事業による創設と合わせ、駅前広場やパーク&ライド駐車場及び都市計画道路等の公共施設整備を、都市再生整備事業等の導入による整備を検討します。	公共施設整備の検討	施設整備の検討：土地区画整理準備組合と施設整備について調整中。	公共施設整備の検討	計画通り実施した。 (土地区画整理準備組合と施設整備について調整中)

(3) 計画的な土地利用						
	事業名	事業概要	第1次工程・数値目標及び評価			
			平成27年度	平成27年度の目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	市場周辺地区土地区画整理事業など	新潟市中央卸売市場機能の補完・強化や市場間競争力の強化及び消費者の高度化・多様化の対応、環境負荷の低減と新たな雇用の創出など拠点形成に取り組みます。	市場周辺地区 土地区画整理組合設立 土地区画整理事業への指導・助言と支援（造成工事に着手）	市場周辺地区 土地区画整理組合設立：実施 土地区画整理事業への指導など：実施	土地区画整理事業への指導・助言と支援	計画通り実施した。
2	(仮称) 江南駅周辺地区土地区画整理事業	土地区画整理事業により新駅を設置するとともに、(主)新潟中央環状道路とJR信越本線の交通結節点における様々な事業を展開することで、交通拠点の創出など、江南区はもとより本市の持続的な発展につなげます。	土地区画整理組合設立準備 助言、支援	土地区画整備組合設立準備の助言など：実施	土地区画整理組合設立準備 助言、支援	計画通り実施した。
3	農村集落維持活性化事業	人口流出や高齢化に伴い、地域のつながりや活力低下が懸念される農村集落において、集落の維持活性化に向けた「田園集落づくり制度」、「新潟市開発行為等の許可の基準に関する条例」の周知などの取り組みを進めていきます。	「田園集落づくり制度」、「新潟市開発行為等の許可の基準に関する条例」周知	事業の制度等の周知：実施	「田園集落づくり制度」、「新潟市開発行為等の許可の基準に関する条例」周知	計画通り実施した。
4	江南区未来づくりプロジェクト	江南区の豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網などの強みを最大限活用する方策について、人口、産業、土地活用を踏まえて検討する。			江南区の現状と課題の把握	計画通り実施した。

2 憩いの空間づくり

水と緑のネットワークづくりやその活用と、資源循環型社会の構築を目指した環境にやさしいまちづくりを推進するなど、自然環境との共生を図り、未来の世代につなげます。

(1)水辺空間の活用						
	事業名	事業概要	第1次工程・数値目標及び評価			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	自転車区めぐり環境の整備推進	阿賀野川フラワーライン・小阿賀野川河川公園など、自転車道の利用促進を図るため「区めぐり自転車交流会」を継続して開催することで、健康づくりの推進と交流人口の拡大につなげます。	「区めぐり自転車交流会」開催	開催日：平成27年9月13日 会場：4ヶ所～酒屋広場ゴール 参加者数：約96人	「区めぐり自転車交流会」開催	計画通り実施した。 開催日：平成28年9月11日 会場：区役所スタート・ゴール 参加者数：196人
(2)公園整備						
	事業名	事業概要	第1次工程・数値目標及び評価			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	地区公園整備事業	憩いの場や健康づくりの場に加え、災害時の拠点としても重要な防災機能という観点など、多様な目的に対応した公園整備について検討します。	検討	検討：実施 アンケートを実施し、公園利用者のニーズを調査	検討	計画通り実施した。
(3)環境保全対策の推進						
	事業名	事業概要	第1次工程・数値目標及び評価			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	江南区一斉環境美化活動	環境保全・環境美化に対する意識を高めるため、江南区全域で一斉清掃を行い、区民協働での美しいまちづくりの実践と同時に地域力・市民力のさらなる向上を図ります。	参加目標人員 4,500人	参加人員：4,716人	参加目標人員 4,500人	参加人員：4,875人
2	不法投棄対策事業	亀田郷不法投棄対策連絡協議会や自治会等の関係機関と連携し、啓発看板や監視カメラの設置等、不法投棄防止パトロールを実施し豊かな環境を守ります。	不法投棄防止パトロールの実施 啓発看板や監視カメラの設置等	早朝の不法投棄防止パトロール：実施 啓発看板の設置等：啓発看板を希望する自治会に配布、また不法投棄が頻発する地域に、啓発看板や幟旗を設置 監視カメラ設置：希望した3自治会に貸与・設置	不法投棄防止パトロールの実施 啓発看板や監視カメラの設置等	不法投棄防止パトロール：実施 啓発看板の設置等：啓発看板を希望する自治会に配布、また不法投棄が頻発する地域に、啓発看板や幟旗を設置 監視カメラ設置：希望した1自治会に貸与・設置
3	(下水道)未普及対策事業	環境にやさしく、住みよいまちづくりに向け下水道未普及地域における汚水管渠の整備を進めます。 (曾野木排水区、丸瀧処理分区)	汚水管渠の整備	【曾野木排水区】 汚水管渠の整備 【丸瀧処理分区】 汚水管渠の整備	汚水管渠の整備	【曾野木排水区】 汚水管渠の整備 【丸瀧処理分区】 汚水管渠の整備

人と人とのつながりを大切にする 安心安全なまち

- 震災、風水害、津波災害などさまざまな自然災害から区民の生命と財産を守るため、地域の特性を踏まえた災害に強いまちづくりを進めます。自らの安全は自ら守り、地域の安全は地域で守る交通安全・防犯意識の高い地域社会の実現を目指します。
- 住み慣れた地域で、生涯を健やかに安心して暮らせるまちを目指します。誰もが気軽に立ち寄れる場や活動の拠点づくりを進めるとともに、「ふれあいと支えあい」を大切にし、人と人とのつながりを感じられるまちを目指します。

1 いつまでも安心して安全に暮らせるまちづくり

さまざまな自然災害から区民の生命と財産を守るため、地域の特性を踏まえた災害に強いまちづくりを進めます。

(1) 防災力の向上

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	自主防災組織強化事業	自主防災組織の結成を促進するため、説明会を開催します。また、結成後の人的・物的支援を強化するため、地域防災訓練へ活動助成するとともに、指導員の派遣や貸し出し資機材の整備を進めます。	自主防災組織の結成促進 地域防災訓練への支援 貸し出し資機材の整備	自主防災組織の結成促進：説明会実施 地域防災訓練への支援：助成金及び指導員の派遣など 貸し出し資機材の整備：訓練用AED、水消火器等購入	自主防災組織の結成促進 地域防災訓練への支援	自主防災組織の結成促進：説明会実施 地域防災訓練への支援：助成金及び指導員の派遣や起震車の手配など
2	ジュニアレスキュー隊育成講習会	災害時において地域と連携した防災活動に対処できる人材を育成するため、中学生に防災講習を実施するなど、ジュニアレスキュー隊を育成します。	区内全中学校で実施	講習会の開催：公立6中学校で実施	区内全中学校で実施	計画通り実施した。
3	江南区防災訓練事業	災害発生時の初動迅速化や防災意識の啓発に向け、住民参加の防災訓練を実施します。	両川地区で実施	両川地区において防災訓練の開催：平成27年7月に実施	江南区災害対策本部訓練実施予定	亀田西小地区において防災訓練の開催：平成28年6月に実施
4	避難行動啓発事業	防災講演会の開催、ハザードマップの作成など、災害発生時の避難行動に関する啓発活動を実施することで、地域の安心安全を強化します。	防災講演会の開催 土砂災害ハザードマップ作成（松山地区）	防災講演会等の開催：平成27年10月に防災教室を実施 平成28年3月に防災講演会を実施 ハザードマップ作成：平成28年3月に土砂災害ハザードマップ完成	防災講演会の開催	防災講演会等の開催：平成28年8月に防災講演会を実施
5	避難対策の推進	災害発生時の避難所の円滑な運営を図るため避難所運営体制検討会を開催するとともに防災備蓄品を整備します。また、災害情報の伝達手段や入手方法を周知徹底するとともに、新たな伝達手段について検討します。	避難所運営体制検討会の開催 災害情報伝達手段の充実 防災備蓄品の整備	検討会の開催：平成28年3月実施 伝達手段の充実：伝達方法について周知 防災備蓄品の整備：備蓄品購入など	災害情報伝達手段の充実 防災備蓄品の整備	災害情報伝達手段の充実：自治会長へ防災メール及び防災アプリへの勧奨案内を送付 防災備蓄品の整備：備蓄品の購入
6	江南区安心・安全な地域づくりの推進	区内の「防災・防犯・交通安全」の分野をさらに向上し、地域と協働で「安心・安全な地域づくり」の推進を図るため、活動の支援および資機材の整備を進めます。			区内8コミ協で実施	計画通り実施した。
7	浸水対策事業	豪雨に対する浸水被害の予防・軽減を図るため、横越排水区における雨水管渠の整備、横越雨水調整池の整備を進めます。	雨水管渠の整備	計画通り実施した。	雨水管渠の整備	計画通り実施した。

(2) 防犯・交通安全の活動強化

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	防犯活動の強化	防犯意識を高めるため、警察等関係機関・団体と連携し、防犯キャンペーンを実施します。また防犯への日頃の注意喚起のため、定期的・緊急時に青色回転灯装着車で巡回を実施します。	防犯キャンペーンの実施 防犯パトロールの実施	防犯キャンペーンの実施：平成27年10月に実施 防犯パトロールの実施：毎月4回実施	防犯キャンペーンの実施 防犯パトロールの実施	防犯キャンペーンの実施：平成28年10月に実施 防犯パトロールの実施：年間34回実施
2	交通安全活動の強化	交通安全運動期間における街頭指導・啓発活動を実施するとともに、保育園・小中学校及び老人クラブ等での交通安全教室を開催します。また、小学校区単位の校区交通安全推進協議会の交通安全活動へ助成するなど交通安全の向上に向け取り組みます。	交通安全運動及び交通事故防止運動での街頭指導・啓発活動の実施 交通安全教室の開催 校区交通安全推進協議会への支援	交通安全運動など：計画に沿って実施 校区安全推進協議会への支援：区内10校の小中学校区において、のぼり旗、路面標示ストップマーク、啓発品等交通安全用具購入費への助成。	交通安全運動及び交通事故防止運動での街頭指導・啓発活動の実施 交通安全教室の開催 校区交通安全推進協議会への支援	交通安全運動など：計画に沿って実施 校区安全推進協議会への支援：区内10校の小中学校区において、のぼり旗、路面標示ストップマーク、啓発品等交通安全用具購入費への助成。

2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

住み慣れた地域で、生涯を健やかに安心して暮らせるまちを目指します。また、誰もが気軽に立ち寄れる場や活動の拠点づくりを進めるとともに、「ふれあいと支えあい」を大切に、人と人とのつながりを感じられるまちを目指します。

(1) ずっと安心して暮らせる地域づくり

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	江南区ふれあい・ささえあいプランの推進	地域包括ケアシステム構築に向け、モデル地区で取組んでいる推進組織による研修や地域での情報提供等を進めます。また、区内の障がい者施設のネットワーク化の推進や施設製品の魅力向上、販売拡充、就労支援を行うとともに、地域との協働による交流事業や福祉大会を開催します。	モデル実施 施設製品の魅力向上 交流事業及び福祉大会の開催	モデル実施：大江山地区で実施施設製品の魅力向上：障がい者施設と協力し福祉センターで夏祭りを開催し、施設製品をPR 交流事業及び福祉大会： ・交流事業4,200人参加 ・福祉大会 360人参加	モデル事業の全区展開 施設製品の販売拡充 交流事業及び福祉大会の開催	モデル事業の全区展開：在宅ケア講演会の実施 施設製品の販売拡充：福祉関連イベント等で施設製品の紹介、販売を支援 交流事業及び福祉大会： ・交流事業4,500人参加 ・福祉大会 261人参加
2	高齢者を地域で支えるモデル事業	介護保険の改正を見据え、高齢者を地域で支える活動のすそ野を広げるため、高齢者の生活支援分野・介護予防の分野に地域コミュニティ協議会などが地域力を発揮できる仕組みづくりと支援を強化します。	モデル事業実施支援・事業検証	モデル事業：NPO1団体と、コミュニティ協議会2団体が事業を実施。 実施団体により2箇所の「お茶の間」が開設	事業実施・事業検証	事業実施：お茶の間の継続支援 事業検証：他地区への展開に向けた検証を実施
3	地域包括ケアシステムの推進	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各地域において、高齢者等を支える仕組みづくりや体制の整備を進めます。			体制の整備	江南区内3つの圏域において、支え合いのしくみづくり会議の設置と推進員を配置し、推進体制を整備した。
4	地域包括ケア推進モデルハウス事業	地域で高齢者を支える仕組みづくりを進めるため、多世代の居場所「地域の茶の間」の運営を支援する基幹型施設として地域包括ケア推進モデルハウスを1か所設置します。			地域包括ケア推進モデルハウスを設置	計画通り実施した。
5	むすびあい手帳作成普及事業	住み慣れた環境で安心して生活できるよう、在宅で介護サービスを利用する高齢者に医療・介護の情報共有のための手帳を配布することで、在宅医療・在宅介護体制の構築を進めます。	市医師会など関係者・団体と連携しながら全域で実施 改善・充実	むすびあい手帳作成普及事業： デイサービス等の施設利用者を中心に、約1,100冊を配布・活用	改善・充実	むすびあい手帳を178冊配布 介護者の家族・医師・介護関係者の連携が図られた。
6	地域で生活をおくる障がい者支援	地域の社会資源の開発や改善、地域の関係機関によるネットワークの構築、地域生活支援体制の充実に向けた地域課題への対応などの協議及び調整を行い、自立した生活をおくるため住まいや就労などの福祉サービスを支援します。	障がい者地域自立支援協議会の開催 基幹相談支援センターとの連携 就労継続支援事業所等の増加 グループホームの検討	障がい者地域自立支援協議会：4回開催 基幹相談支援センター：エリア担当者会議4回開催。ケースへの対応等の連携 就労継続支援事業所：1施設増 グループホーム運営に係る支援	障がい者地域自立支援協議会の開催 基幹相談支援センターとの連携強化 障がい福祉サービスの活用促進	障がい者地域自立支援協議会：4回開催。 基幹相談支援センター：エリア担当者会議4回開催することで、ケースへの対応等の連携強化に繋がった。 「障がい児のための放課後等サービスガイドブック」の改訂

7	かけがえのない命を守ろう ～江南区自殺予防事業～	自殺の原因となるうつ病を早期に発見し、働く世代へ自殺予防の啓発を図るため、新潟青陵大学と連携して「こころの健康アンケート」調査を行うとともに講座などを開催します。	アンケート実施（10会場） ストレスコントロール講座の開催（2回）	アンケート実施 19会場 1,115人 ストレスコントロール講座 一般向け 1回 127人参加 企業向け 1回 30人参加	前年度結果を踏まえた事業の実施	先進地への視察 こころの健康アンケート協力企業への結果報告（6企業） ゲートキーパー養成研修3回1コース 延11人受講（うち7人ゲートキーパーとして活動） 自殺予防対策検討会3回開催
8	食生活改善推進委員、運動普及推進委員を中心としたイベントや講座の開催	食生活の改善や日常生活での運動を普及させることで、地域の健康の向上につなげます。そのため、普及講習会の開催（調理実習とテーマを決めての講話、体操等）や、てくてく歩こう会の開催などを実施します	健康増進普及講習会の開催（10回） てくてく歩こう会の開催（2回）	健康増進普及講習会 2テーマ×5会場 計10回 延149人参加 てくてく歩こう会 4/20（月）24人参加 10/5（月）44人参加	健康増進普及講習会の開催（10回） てくてく歩こう会の開催（2回）	健康増進普及講習会 2テーマ×5会場 計10回 延132人参加 てくてく歩こう会 10/17（月）18人参加
9	運動を地域で普及する事業及び骨粗しょう症予防事業	地域における健康づくりを推進するため、「生活習慣病予防教室」や「運動でヘルスアップ」を開催するなど意識啓発などを図ります。また、骨粗しょう症予防のため、骨密度相談会や骨粗しょう症講演会を開催するなど健康寿命の延伸につなげます。	生活習慣病予防教室の開催（8回1コース） 運動でヘルスアップの開催（2回1コースを6回） 骨密度相談会の開催（6回） 講演会の開催（1回）	生活習慣病予防教室 8回1コース+フォロー教室1回 運動でヘルスアップ 2回1コースを6回 骨粗しょう症予防相談会と講演会 7回341人と1回28人参加	引き続き開催	生活習慣病予防教室 8回1コース+フォロー教室1回 112人参加 運動でヘルスアップ 2回1コースを6回 106人参加 骨粗しょう症予防相談会 7回371人参加 骨粗しょう症予防講演会 1回24人参加
10	脳健康教室（楽らく脳力アップ塾）	認知症・閉じこもりのおそれのある人を対象に、定期的に通所し、簡単な「読み書き」「計算」レクリエーション等の脳活性化訓練を実施することにより、認知症や閉じこもりを予防し要支援・要介護状態になることを予防します。	5か月間で毎週1回、計20回の学習の開催	5か月間毎週1回、計20回の開催 参加者16人	5か月間で毎週1回、計20回の学習の開催	5か月間毎週1回、計20回の開催 参加者10人

(2)子どもを安心して産み育てられるまちづくり

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	待機児童ゼロ対策(保育士の確保)	待機児童ゼロを堅持するため、年度途中の入園希望に対応できる職員配置を行います。	待機児童ゼロを堅持	待機児童ゼロを堅持	待機児童ゼロを堅持	待機児童ゼロを堅持
2	私立保育園建設費補助事業	待機児童ゼロを堅持するため、私立保育園等の新設・拡充を支援するなど、保育園定員の拡充に向け取り組めます。	私立保育園の建設 (2施設・定員各90名)	私立保育園2施設竣工	私立保育園の新規開設 (2施設・定員各90名)	私立保育園2施設竣工
3	地域型保育事業	待機児童ゼロを堅持するため、保育需要が高い0～2歳児の定員拡充を図るため、子ども・子育て支援法に基づき、小規模保育施設において地域型保育を実施します。	事業開始 (1施設・定員9名)	1施設事業開始	事業開始 (1施設・定員9名)	計画通り実施した。
4	地域子育て支援拠点事業	地域での子育てを支援するため、親子が遊びながら相互の交流を行う居場所の提供、保護者の子育てに対する不安・悩みを解消するための相談、情報提供、助言を行います。	地域子育て支援拠点の職員の情報交換や研修機会の充実	意見交換の場を3回/年開催	地域子育て支援拠点の職員の情報交換や研修機会の充実	児童館職員を含めて意見交換の場を3回/年開催 子育て支援センターの実利用者数460人
5	避難・防災拠点耐震化事業	新潟市建築物耐震改修促進計画に基づき、曾野木保育園、第二曾野木保育園の耐震補強工事を実施し、子どもたちの安心安全を確保します。	公立保育園2施設	曾野木保育園・第二曾野木保育園において耐震補強工事を実施	/	/
6	安産教室	妊婦が安心して出産を迎えられるよう、妊娠中の過ごし方や、安全な出産と育児について、3回コースで学んでいただける教室を開催します。	3回コースの教室を6回開催	3回コースの教室を6回開催	3回コースの教室を6回開催	2回コースの教室を4回開催
7	育児相談	概ね就園前の乳幼児を対象に、亀田健康センター、横越健康センター、曾野木健康センターにおいて、おさんの身体計測や乳幼児の発達・保育・離乳など子育てについての相談を受け付けます。	各健康センター 月1回開催	各健康センター 月1回開催	各健康センター 月1回開催	横越健康センター 月1回開催 子育て支援センター(3か所)での育児相談(随時)
8	保育園の地域交流	地域の方を保育園の運動会などの行事への招待するほか、祖父母との交流活動や園児以外の児童や異年齢交流などを通じ、地域の交流を深めます。	全保育園で実施	全保育園で実施	全保育園で実施	全保育園で実施
9	未来へつなごう！中高生やりたいこと応援プロジェクト	江南区福祉センターに設置する「子どもたちの居場所」を拠点に、自主イベントの企画・実施など中高生の「やりたいこと」を応援します。また、居場所のルールづくり等を行う運営組織の立ち上げを目指します。	「子どもたちの居場所」 年間利用者 1,500人	年間利用者数：3,564人	年間利用者 2,000人	年間利用者 7,386人

10	ほっとスマイル！親子ふれあい応援	子ども自身の育つ力を育み、子どもたちが健やかに育ちつくりを推進するため、地域や家庭において、心と体のふれあいを実感できるわらべ歌や木製ブロック遊びの講習会・イベント等を実施します。	地域における子育て支援関係団体等で構成された実行委員会が企画・立案・運営	実行委員会3回/年開催 ブロック遊び講習会2回/年開催 イベント実施日：2/14（日） ※参加者：381人	連携の強化 改善・充実	実行委員会3回/年開催 イベント実施日：1/29（日） ※参加者：403人
11	亀田東児童館運営事業	地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、子ども達に健全な遊びや情報の提供を行います。	利用者数 21,500人以上	利用者数：33,637人	利用者数 21,500人以上	利用者数：25,785人
12	子ども・子育て支援新制度推進事業（地域主体運営モデル事業）	「地域の子どもを地域で見守るモデル」として、放課後児童クラブ（ひまわりクラブ）に地域コミュニティ協議会をはじめとする地域から関わっていただけるよう、地域力を発揮できる仕組みづくりを進めます。	地域連携モデル事業実施	1コミ協実施	拡大	2コミ協実施
13	初めての子育て支援事業	第1子出産後の母子を対象に「親子の絆づくりプログラム」を実施し、子育ての不安感を軽減するとともに、母親同士の仲間づくりを支援し、地域で互いに支え合い安心して子育てができる環境を育みます。			参加率：全対象者の概ね5割	参加率：全対象者の44%
14	初めての子育て支援事業フォローアップ	第2子を出産した全ての母親を支援する「親子の絆づくりプログラム」に参加できなかった母親全員を対象に、保健師による戸別訪問、相談・指導を行い、子育てしやすい環境づくりを目指します。			BPプログラムに参加またはフォローアップとして保健師が訪問した割合79%以上	BPプログラムに参加またはフォローアップとして保健師が訪問した割合94%

創造的な産業を育む活力のあるまち

- 地元の多様な農産物を活用することで、農業と商工業の連携による創造的な産業の育成を図り、江南区ならではの個性と魅力あるものづくりを進めるとともに、新たな雇用の創出を目指します。
- 地域が一体となり、そこに培われた風情や歴史など“地域らしさ”を感じさせる、活力と魅力にあふれた賑わいのあるまちなかを創出し、交流人口の拡大を目指します。

基本方針Ⅲ 創造的な産業を育む活力のあるまち

1 創造的な産業の育成

地元が多様な農産物を活用することで、農業と商工業の連携による創造的な産業の育成を図り、江南区ならではの個性と魅力あるものづくりを進めるとともに、新たな雇用の創出を目指します。

(1) 農業の振興

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	地域農業マスタープラン策定推進事業	農地中間管理機構を活用し、区内5地区ごとに、革新的で持続可能な地域農業の実現に向けたマスタープラン策定を推進します。	プラン設計に関する手順検討及び地区説明のための準備	地区説明会に向け、地区関係者によるプラン設計のための素材の準備を実施	区内の1地区でマスタープランを策定する	3地区で策定した。(亀田・横越・大江山地区内)
2	魅力ざっしり江南区の創造と発信	区内5地区それぞれの農産物や歴史、施設などの地域資源を地域が連携して活用する仕組みを構築し、食を主体とする様々な文化の創造と情報発信を行うと同時に、食育を推進するなど、地域の農業振興を図ります。	2地区で実行委員会設立	3地区で実行委員会を設立。地域資源の掘り起しと活用の取り組みを実施	1地区で実行委員会設立	計画通り実施した。
3	農業特区活用推進事業	「食」と「農」を活かし、区の魅力を新たに創造・発信するため、農業分野における国家戦略特区を活かした地域づくりについて区内5地区で検討します。	2地区で検討	2地区において特区活用のための勉強会開催にむけ、関係者と内容の検討を実施	1地区で検討	計画通り実施した。
4	環境保全型農業推進事業 (環境と人にやさしい農業支援事業) (5割減農業減化学肥料支援)	環境にやさしい持続可能な農業を推進するため、化学肥料などの使用料低減など、環境保全型の農地・土づくりを積極的に支援します。	区内全域で実施	計画通り実施した。	区内全域で実施	計画通り実施した。

(2) 新たな産業の創出

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	魅力ざっしり江南区の創造と発信 (再掲)	区内5地区の連携により、農業分野における国家戦略特区指定による規制緩和を生かした農商工連携を進めることで、付加価値の高い食品開発に向けた仕組みづくりを進めます。	仕組みづくりに向け、2地区で実行委員会設立	3地区で実行委員会を設立。地域資源の掘り起しと活用の取り組みを実施	1地区で実行委員会設立	計画通り実施した。
2	食文化創造推進 旬果旬菜いきいきフェスタ	江南区の魅力を生かした特産商品開発を支援します。また、旬の味覚を味わい、特産品を見て、触れて魅力を感じていただくイベントを開催し、地域特産品の販売・PRを行うことで、地域産業の育成を進めます。	特産品育成・見本市開催	4品目の商品開発への支援として、イベントにおける試験販売や見本市への出展を実施	特産品育成・見本市開催	5品目の商品開発への支援として、いきいきフェスタやフードメッセに出展を実施。
3	農業特区活用推進事業	「食」と「農」を活かし、区の魅力を新たに創造・発信するため、農業分野における国家戦略特区を活かした地域づくりについて区内5地区で検討します。	2地区で検討	2地区において特区活用のための勉強会開催に向け、関係者と内容の検討を実施	1地区で検討	計画通り実施した。
4	販路開拓支援	区内5地区において、新潟IPC財団と連携し、区内製品の販路拡大・開拓に向けた支援を行います。	1地区で実施	IPC財団の事業を活用し、1地区(亀田地区)の梅干製品とアロニア製品の販路開拓を実施	1地区で実施	IPC財団の協力を受け、亀田地区(亀田編)の販路開拓に取り組んだ。

2 活力と賑わいのあるまちなかの創出

地域が一体となり、そこに培われた風情や歴史など“地域らしさ”を感じさせる、活力と魅力にあふれた賑わいのあるまちなかを創出し、交流人口の拡大を目指します。

(1) まちなかの活性化と交流人口の拡大

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	商店街活性化事業	商店街と連携し、商店街活性化に向けた本市支援制度などを的確に利用していただくことで、江南区における魅力ある商店街づくりを進めます。	2地区で実施	5地区で本市支援制度や商工会関係、IPC財団関係の支援制度を活用した取り組みを実施	1地区で実施	4地区で本市支援制度や商工会関係、IPC財団関係の支援制度を活用した取り組みを実施。
2	魅力ぎっしり江南区の創造と発信（再掲）	区内5地区それぞれの農産物や歴史、施設などの地域資源を地域が連携して活用する仕組みを構築し、区の様々な魅力の創造と情報発信を行うことで、交流人口の拡大を推進します。	2地区で実施	3地区で実行委員会を設立 地域資源の掘り起しと活用の取り組みを実施	1地区で実施	計画通り実施した。
3	江南区未来づくりプロジェクト（再掲）	江南区の豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網などの強みを最大限活用する方策について、人口、産業、土地活用を踏まえて検討する。			江南区の現状と課題の把握	計画通り実施した。

未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち

- 将来を担う大切な人材である子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と家庭や地域が連携して学・社・民の融合により、教育力の向上を図ります。
- 先人から受け継がれた歴史や伝統を継承し、多様な文化芸術にふれる機会の創出や市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりなど、さまざまな個性が発揮でき、生涯にわたり人が輝くまちを目指します。

基本方針Ⅳ 未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち

1 地域と共に創る子どもたちの未来

将来を担う大切な人材である子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と家庭や地域が連携して学・社・民の融合により、教育力の向上を図ります。

(1) 生涯にわたり学びの機会の提供

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	おはよう朝ごはん事業	「朝ごはんレシピ集」を使った調理実習などにより、子どもたちの基本的な生活習慣を向上させるとともに、地域住民が連携して実施することを通じて、地域の活力づくり・組織づくりにもつなげます。	8コミ協で実施	6コミ協で実施。 ※スケジュール等に時間を要したため。	8コミ協で実施	4コミ協で実施 ※コミュニティ協議会との調整が取れなかったため。
2	子ども体験教室	子どもたちが仲間同士で様々な活動を通して、助け合いや協力することについてを学びます。	各地区公民館で実施	各地区の公民館で実施。	各地区公民館で実施	計画通り実施した。
3	学習室開放事業	子どもたちの長期休み期間などに公民館の学習室を開放し、子どもたちが集中して学習する場を提供します。	月2回のほか春夏冬休み中など随時	計画通り実施した。	月2回のほか春夏冬休み中など随時	計画通り実施した。

(2) 学・社・民の融合による教育の推進

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	地域と学校パートナーシップ事業	学校に配置された地域教育コーディネーターを核として、地域や社会教育施設との様々な活動を結ぶネットワークづくり、教育活動における地域人材の参画と協働等を推進します。	学校支援ボランティア延べ人数 (区内1校当たり年間) 730人	学校支援ボランティア延べ人数 (区内1校当たり年間) 866人	学校支援ボランティア延べ人数 (区内1校当たり年間) 740人	学校支援ボランティア延べ人数 (区内1校当たり年間) 973人
2	地域と学校パートナーシップ事業（ウェルカム参観日）	パートナーシップ事業の地域への更なる広報・周知を図るため、地域の誰もが参加できる「ウェルカム参観日」を区内の学校で実施します。	広報の工夫 ウェルカム参観日実施、支援	区役所だよりの特集でコーディネーターの一日の動きに着目した記事を掲載。 各学校で実施するウェルカム参観日の広報を実施。	広報のさらなる工夫 ウェルカム参観日実施、支援	市政情報モニターで同事業を市民に周知した。 ウェルカム参観日の実施について自治協議会で紹介した。
3	改築、大規模改修事業等	学校施設の老朽度や建築経過年数等を踏まえた、校舎の大規模改修により、子どもたちが安心して学べる安全な施設整備を進めます。	・東曾野野小 大規模工事（耐震補強共） ・曾野木小、横越小、亀田小 大規模実施設計	計画通り実施した。	曾野木小、横越小、亀田小 大規模工事	国の補助事業採択が見送られたため亀田小のみ実施

(3) 家庭教育の支援

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	家庭教育学級	乳幼児期や児童期など、各世代における課題などについて学びあえる家庭教育講座を実施します。 (乳児期家庭教育講座、幼児期家庭教育講座、児童期家庭教育講座 など)	各地区で4事業以上実施	計画通り実施した。	各地区で4事業以上実施	計画通り実施した。

2 文化が花開きスポーツの盛んなまちづくり

先人から受け継がれた歴史や伝統を継承し、多様な文化芸術にふれる機会の創出や市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりなど、さまざまな個性が発揮でき、生涯にわたり人が輝くまちを目指します。

(1) 文化の振興・文化の創造

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	文化芸術の創造・発信	江南区文化会館を拠点として、新潟県立大学との連携や地元音楽家出演のコンサートなど、区民に親しみやすい事業を協働で実施し、区民が文化会館を活用するきっかけをつくることで、更なる文化芸術の振興を図ります。	内容を充実させ、4事業程度実施	区民が親しみやすい多彩なコンサートを企画実施。 ・新潟県立大学×江南区文化会館連携事業（季節ごとに4事業実施） ・第4回全国社会人落語祭り ・枝並静香ソロリサイタル（地元演奏家シリーズ） ・古楽器コンサート-2nd series-など	内容を充実させ、4事業程度実施	区民が親しみやすい多彩なコンサートを企画実施。 ・新潟県立大学×江南区文化会館連携事業（季節ごとに4事業実施） ・第5回全国社会人落語祭り ・劇団かかし座公演 ・古楽器コンサート-3rd series-など
2	文化会館による自主事業	合築施設のメリットを活かし、各施設（4施設）及び利用者が連携した活動・事業により、新たな芸術・文化の創造を目指します。	ニーズに応じた内容で4～6事業程度実施	新たな芸術文化の創造と発信、また人材育成を目的とした事業を企画実施。 ・絵本とリコーダー音楽会（図書館と文化会館のコラボ企画） ・東日本大震災復興支援チャリティコンサート（民を取り込み実行委員会で開催） ・N響チェンバープラスコンサート（学と連携しワークショップ実施） ・【文化庁】文化芸術による子供の育成事業（学・社・民及び地域と連携しコンサートを開催）	ニーズに応じた内容で4～6事業程度実施	新たな芸術文化の創造と発信、また人材育成を目的とした事業を企画実施。 ・絵本とリコーダー音楽会 ・演劇公演 ・イングリッシュ・プラス・アカデミー・インジャパン吹奏楽アウトリーチ事業 ・技術スタッフ養成講座 ・レセプション養成講座など

(2) 歴史や伝統の継承

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	江南区郷土資料館管理運営事業	江南区の歴史・文化を分かりやすく伝える館運営を「江南区郷土資料館を応援する会」などと協働して行います。	施設運営 来館者数目標：17,000人以上	来館者数：17,839人	施設運営 来館者数目標：前年度以上	来館者数：16,766人
2	子ども向け江南区歴史講座事業 市民ボランティア育成事業	現在社会科の授業等で来館した小・中学生に行っている説明を講座に発展させることで、若い世代に江南区の歴史や伝統を伝え、継承していきます。また、講師を務めるボランティアの育成もあわせて行います。	・子ども向け江南区歴史講座実施に向け準備 ・市民ボランティア育成研修の開催	・体験教室の実施（夏休み2日、春休み1日） ・ボランティア研修の実施（定期12回、視察1回）	子ども向け江南区歴史講座の開催 回数目標3回	開催回数：4回

(3) スポーツ活動の支援・振興

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	「区づくり事業」 健康は自分でつくる宝物の 推進	ランニングやウォーキングなど身近に取り組めるスポーツ セミナーの実施や、年齢、経験を問わず誰もが気軽にできる ニュースポーツ（フロアカーリング）の普及・振興により、 スポーツによる健康づくり習慣の拡大を図ります。	・ランニングセミナーやウォー キング等のセミナー実施 ・フロアカーリング体験・研修 会・大会開催 参加者数目標：1,000人以上 （社会体育事業含む）	ランニングセミナー：190人、 ウォーキングセミナー：135 人、フロアカーリング体験等： 666人 合計参加者数：991人 ※目標参加者数は達成しなかつ たものの、すべての事業において 昨年度以上の参加者となっ た。		
2	江南区健康ウォーク	江南区の魅力を感じる田園や梨畑、小阿賀野川の風景を楽し めるコースを他区のウォーキングとも連携し、誰でも気軽に に参加できるイベントとして、毎年実施します。	第9回江南区健康ウォークの実 施 参加者数目標 250名以上	参加者数：332人	第10回江南区健康ウォークの実 施 参加者数目標 前年以上	参加者数：212人 ※目標とする前年以上の参加者 数には達しなかったが、参加申 込数は定員以上となった。
1 と 2 を 合 体	スポーツに親しむ機会の創 出	ランニングやウォーキングなど身近に取り組めるスポーツ や、年齢・経験を問わず誰もが参加できるニュースポーツ （フロアカーリング）などのイベントを実施し、区民がス ポーツに親しむ機会を創出します。			※参考 ランニングセミナー フロアカーリング交流会（親善 大会含む）等の実施	※参考 ランニングセミナー：174人 フロアカーリング体験会等：4 09人 合計参加者数：751人
3	江南区スポーツ施設の管理 運営事業	指定管理による江南区内体育施設（亀田総合体育館・横越 総合体育館・亀田運動広場・かわね公園グラウンド）の運営 を通じた教室の開催など、スポーツに親しめる環境づくりを 目指します。	施設年間利用者目標 500,000人	亀田総合体育館：373,476人、 横越総合体育館：108,262人、 亀田運動広場：34,833人、か わね公園グラウンド：21,944 人 合計：538,515人	施設年間利用者目標：前年以上	亀田総合体育館：401,927人、 横越総合体育館：110,346人、 亀田運動広場：31,621 人、 かわね公園グラウンド： 20,355人 合計：564,249人
4	地区スポーツ振興会補助事 業	地域の特性に合った、より身近なスポーツ事業の展開を図 ることにより、地域のスポーツ振興と活性化を推進する江南 区内の地区スポーツ振興会へ引き続き補助金を交付します。	補助金の交付 ・地区スポーツ振興会（東亀 田・西亀田・大江山・曾野木・ 東曾野木・両川・横越）	地区スポーツ振興会（東亀田・ 西亀田・大江山・曾野木・東 曾野木・両川・横越）へ補助金を 交付	補助金の交付 ・地区スポーツ振興会（東亀 田・西亀田・大江山・曾野木・ 東曾野木・両川・横越）	地区スポーツ振興会へ補助金交 付 （東亀田・西亀田・大江山・曾 野木・東曾野木・両川・横越）
5	区体育協会連携事業	青少年健全育成や生涯スポーツ活動を広くPRし、底辺の 拡大を図ります。また、区体育協会加盟団体等へ、スポーツ の国際大会等出場者激励金制度や区体育協会スポーツ表彰を PRし、競技力の向上に努めます。	・区内スポーツ少年団等紹介案 内を作成・設置 ・スポーツ表彰式の開催 ・国際大会等激励金制度の啓発	・区内スポーツ少年団等紹介案 内を作成・設置 ・スポーツ表彰式の開催、受賞 者58人、受賞団体6団体 ・区体育協会加盟団体への国際 大会等激励金制度の啓発	・区内スポーツ少年団等紹介案 内を作成・設置 ・スポーツ表彰式の開催 ・国際大会等激励金制度の啓発	計画通り実施した。
6	学校グラウンド等の有効活 用検討	地域のスポーツ振興のため、廃校となったグラウンド等の 有効利用について検討します。	・学校のグラウンド等の状況調 査 ・財産状況等の再確認 ・地元との協議・検討	グラウンドの現況や利用状況を 踏まえ地元と協議。緊急性が高 いと判断しH28年5月にトイレ 設置 ・両川地区コミ協がグラウンド 管理と水道料負担 ・主な利用団体は両川スポーツ 少年団（利用日：土・日曜、祝 日、平日(不定期)）	前年度結果を受け取り組みの実 施	・学校のグラウンド等の状況調 査：実施 ・財産状況等の再確認：実施 ・地元との協議・検討：実施

区民がまちづくりの主役として輝くまち

- さまざまな地域課題解決に向けて、区自治協議会、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会などとの協働をさらに深め、区民が主役となる自治の実現を目指します。
- 江南区サービス憲章に基づき、区民の立場に立って迅速・丁寧な対応を目指すとともに、多様な区民の声を大切にする区役所づくりを進めます。

基本方針Ⅴ 区民がまちづくりの主役として輝くまち

1 区民と共に歩む協働のまち

さまざまな地域課題解決に向けて、区自治協議会、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会などとの協働をさらに深め、区民が主役となる自治の実現を目指します。

(1) 区自治協議会との協働

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	区自治協議会運営事業	区民に身近なまちづくりや地域課題の解決のため、多様な意見の調整及び取りまとめを行い、区役所などと連携し、区民等と市との協働の「要」としての役割を担う区自治協議会を運営します。また、地域課題に即した部会を開催し、課題解決に向け取り組みます。	会議の開催 12回 部会の開催 12回以上	本会議：12回開催 部会：延40回開催	会議の開催 12回 部会の開催 12回以上	本会議：12回開催 部会：延40回開催
2	区自治協議会委員研修会	毎年1回、区自治協議会委員の研修を実施するほか、区自治協議会委員の改選年には新任委員に対して研修を実施します。	研修の実施	区自治協議会委員研修会 H27.11・H28.1(2回)実施 新任委員研修：H27.4実施	研修の実施	区自治協議会委員研修会 H28.11月実施
3	区自治協議会活性化事業	区民の区自治協議会への認知度や、活動への理解、関心を高めるため、区自治協議会広報紙を継続的に発行します。	広報誌 年2回以上の発行	広報誌：年2回発行	広報誌 年2回以上の発行	広報誌：年2回発行

(2) コミュニティ活動への支援

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	地域づくりの拠点創出事業	地域が主体的にまちづくりを行うための拠点である「まちづくりセンター」の整備を進めます。また拠点整備に併せて、拠点における人材の発掘・育成を図ります。	まちづくりセンターの整備1箇所 人材育成講座の開催	亀田西小学校区まちづくりセンター整備。 ※亀田西小校区コミ協へ貸付	まちづくりセンター整備箇所検討 人材育成講座の開催	大江山地区コミュニティ協議会事務室変更に伴う、大江山まちづくりセンター再整備について検討
2	自治会・町内会長会議の開催	各種補助制度の周知や身近な課題などの情報共有を図るため、自治会・町内会長会議を開催します。	区内5地区で開催	区内5地区で4月に開催	区内5地区で開催	区内5地区で4月に開催
3	地域コミュニティ育成事業	地域コミュニティ協議会の運営を支援し、地域コミュニティ協議会による持続的な地域の特性を生かしたまちづくり活動につなげます。	助成金の交付 8団体	地域コミュニティ協議会運営助成金 8団体交付。	助成金の交付 8団体	地域コミュニティ協議会運営助成金 8団体交付
4	地域活動補助金	自主的・主体的なまちづくり活動の取り組みの促進を図り、豊かな地域社会を実現するため、地域課題の解決を図る活動等に補助を行います。	補助金の交付	地域活動補助金 12団体交付 内訳 コミ協 8団体 自治会・町内会 1団体 その他非営利団体 3団体	補助金の交付	地域活動補助金 10団体交付 内訳：コミ協 4団体 自治会・町内会 2団体 その他非営利団体 4団体
5	コミュニティ活動設備整備補助金	地域が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指し、コミュニティ活動に直接必要な設備の整備に対する補助を行います。	補助金の交付	コミュニティ活動設備整備補助金 8団体交付。	補助金の交付	コミュニティ活動設備整備補助金 2団体交付
6	曾野木地区市営住宅跡地コミュニティ活動拠点整備事業	コミュニティ活動拠点などの整備について、地元及び関係機関と協議しながら、必要な機能について検討します。	基本構想策定に向けた検討	計画通り実施した。	地域別実行計画策定に向けた検討	計画通り実施した。

基本方針Ⅴ 区民がまちづくりの主役として輝くまち

2 区民の声を大切にする区役所づくり

江南区サービス憲章に基づき、区民の立場に立って迅速・丁寧な対応を目指すとともに、多様な区民の声を大切にする区役所づくりを進めます。

(1) 親しまれ信頼される区役所

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度の目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	区役所の権限強化、区における総合的な行政運営の推進 [行革プラン2015]	これまで以上に区役所が市政のメインステージとして、区が主体となった魅力あるまちづくりの一層の推進を目指します。	区と本庁の事務分担の再整理	計画通り実施した。	区と本庁の機能のあり方検討と検討結果を踏まえた取り組みの実施	計画通り実施した。
2	区長等の成果志向による組織マネジメントの徹底 [行革プラン2015]	自立し自律する区役所の実現に向け、区長のリーダーシップによる組織マネジメントを徹底します。	部長・区長マニフェストの運用と検証	計画通り実施した。	検証結果に基づき部長・区長マニフェストの運用と検証	計画通り実施した。
3	職員の意識改革と協働を実践しやすい庁内体制の整備 [行革プラン2015]	協働を実践できる職員の育成を行うとともに、庁内外の連携における情報共有と協力体制の構築を進めます。	職員への協働研修実施 協働推進体制構築の検討	計画通り実施した。	職員への協働研修実施 協働推進会議運用	計画通り実施した。
4	男女共同参画啓発事業	男女共同参画地域推進員と連携して地域での男女共同参画啓発事業を継続して実施します。	男女共同参画啓発チラシの配布 男女共同参画推進講演会開催	チラシ配布 街頭キャンペーン実施 (H27.4) 講演会 中学校 (H27.6, H27.11) 区役所 (H27.10)	男女共同参画啓発チラシの配布 男女共同参画推進講演会開催	チラシ配布：H28年6月実施 講演会：H28年10月実施
5	江南区サービス憲章の遵守	江南区サービス憲章5つの心（約束）に対する取り組みを推進します。①迅速・丁寧、②連携・協働、③向上心、④発信・共有、⑤信頼・親近感	江南区サービス憲章の実践	日頃より実践	江南区サービス憲章の実践	日頃より実践
6	人材育成事業	職員資質の向上を目的に職員研修を実施するとともに、各業務に関する専門研修への参加を促進します。	職員研修の実施 各種研修への参加促進	計画通り実施した。	職員研修の実施 各種研修への参加促進	計画通り実施した。
7	窓口改善運動の推進	区民の視点に立った、わかりやすい窓口対応を進めるため、窓口改善運動PTによる改善事項の検討を進め、案内表示等の改善を実施します。	案内表示等の改善	利用者起点に立った公共施設の点検による改善を実施 エレベーター脇フロア案内図の新設など改善を実施	案内表示等の改善	窓口業務一覧表を作成し、円滑な窓口案内を行った。 駐輪場表示を大きくし見やすくした。

(2) 広報・広聴の充実

	事業名	事業概要	工程・数値目標			
			平成27年度	平成27年度の目標に対する結果	平成28年度	平成28年度の目標に対する結果
1	区役所だより発行事業	区の行政情報、区内各施設の催しや地域の話題などの情報を発信し、情報の共有を図るため、区役所だよりを発行します。	内容の充実を図りながら発行	内容の充実と読みやすさを図りながら発行	内容の充実を図りながら発行	計画通り実施した。
2	区長懇談会開催事業	区長とコミュニティ協議会との懇談会を開催し、地域の現状・課題などについて区民と区長が直接意見交換することで、区民の意見を区政に反映させます。	全コミ協と実施（年8回）	区内の全8コミ協を対象に実施	全コミ協と実施（年8回）	計画通り実施した。



緑と調和した
賑わいと安らぎのあるまち
江南区

平成29年6月

新潟市江南区役所 地域課

〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5
TEL:025-383-1000 FAX:025-381-7090